



石川県教育支援センター

# やすらぎ加賀通信

ブログ更新中 見てね!

第105号 2015/10/14

お盆過ぎから猛暑が影を潜め、秋の体育祭や文化祭が順調に行われた感があります。しかし、一方で火山の噴火警報レベル2が何カ所も発令され、台風による関東・東北豪雨被害が発生するなど自然に対する畏敬の念を新たにする秋でした。高校生による悲しい事件が報じられております。子どもたちが自由に豊かに暮らせる社会の実現に大人が頑張りましょう。

## 土田先生（心理カウンセラー）の相談日

10月16日（金）、23（金）、30（金）

11月 6日（金）、20（金）

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は予約をお願いします。



	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
7月	19	2	16	37	3
8月	11	4	14	29	3
9月	8	7	13	28	3



大根です。大きくなってますよ!

## 第2回 事例検討会から

10月7日（水）15:30～16:50 加賀市青少年育成センター

今年度第2回目は、講師に臨床心理士の浅田伸史先生をお招きし、加賀市役所保健課、市内の小・中・高・特別支援学校から19名の参加をいただき、全員が参加者となれるようPCAGIP法で進行しました。

学校に復帰できそうで、戻れない高校生の事例でした。参加者から色んな切り口でアドバイスをいただきました。「様々の視点から役に立つ知恵や支援のためのスキルを教えていただき、視野が広がりました。励みになりました。」（事例提供者感想）

最後に講師の先生よりいただいた助言をいくつか示します。

- ・ 具体的で身近なものを例えにしてイメージしやすくし、スモールステップで対応していく事が大切か。
- ・ ネットワークを利用して関係者以外の人にも協力してもらう。
- ・ 欲しいものを買うために、どれくらいの仕事量でどのくらいの報酬になるのか計算させてみる。
- ・ 自分自身の評価は決して高くない。そうではなく適度な評価を他者からされていることを自分自身で確かめられるよう評価のズレを埋める工夫が必要。
- ・ デジタルではなくアナログの感覚で生活することが社会適応につながる。

お忙しい中参加してくれた皆様ありがとうございました。

## 教室では

# 7・8・9月の活動



インドア活動をしましたよ。

- ① コーヒーゼリーは、ほろ苦くて甘く男性でも十分いけました。
- ② シアチーズケーキは大人の味がしました。
- ③ 流しソーメンは青竹を切るところから試行錯誤、暑い日でした。どれも美味しく完食でしたよ。



## プランター農園

カボチャ、ひまわり小夏、ミニトマトアイコ、落花生がお初です。



みんな元気に個性的に育ってくれました。これから落花生の収穫が楽しみです。

## いじめ問題理解研修会 ～スマホ依存について～

7/24(金) 13:30~15:30 於 加賀市青少年育成センター「のぞみ教室」  
講師 金沢大学人間社会学域准教授(臨床心理士)原田 克巳 先生



県教委もホッとネット大作戦として力を入れている問題。地域より20名の参加がありました。興味深いプレゼンと講演の後、多くの情報や意見が寄せられました。印象的なものを記します。

スクールカーストの鬱憤をネットで発散。フィルタリング対応から親がネットを「知る・理解する」必要性。親子が肉声で話す、子どもの声に耳を傾ける、親子がよく話し合うこと。社会的な対応システムの構築。そして、ネットから身を守るには専門家の話を聞く機会を学校現場でもつことは有効である。

## お知らせ

◎ 金沢大学の学生ボランティア活動

「加賀フレンドシップ」が始まり、6名の学生が応募してくれており、今年も11月より主に市内の中学校・高等学校で約3ヶ月間生徒の話し相手となります。 待っててね!



1000ピース挑戦中